

## ニューフェイスのご紹介

近江舞子しょうぶ苑 ボランティア新聞

# アイリス



令和2年 3月号  
LIST No. 277  
ボランティア友の会

今も、まったく衰えを知らず猛威を振っている新型コロナウイルス肺炎。少しでも感染拡大を防ぐため、当苑のボランティア活動を自粛することになった。従って、ボランティア新聞アイリスの発行も停止することになります。先が見えない新型コロナウイルス肺炎感染の終息を、不要・不急の外出を出来るだけ控え、じっと我慢強く待つしか方法がありません。

さて、今回は大変我慢強い「アオサギ」のお話。体長は1メートル近くあり、羽を広げると2メートル近くもある大型の鳥。池の端に数時間彫刻のように動かず魚が近づくのを待ちます。



アオサギ



～ 3月以降の予定は、現在 未定 ～

【 ボランティア活動の一時停止 】

新型コロナウイルス肺炎の感染拡大が心配されるため、  
当分の間ボランティア活動を自粛します。

～2月のできごと～

## 詩 吟

15日(土)午後2時10分、地域交流室に鶯迪吟詠会の代表 山川 洋子(ハイコ)さんと、広田 迪璋(ジンショウ)さん、そして、堀尾 迪真(ジュンシン)さんが来演、梅の花が見頃の時季に呼応するかのように新島 襄の詩「寒梅」と方岳の詩「雪梅」が厳かに吟じられた。



## フットマッサージ



一方、この時刻、フットマッサージ師 奥田 利奈子さんが、若草町をはじめ山吹町、そして、菖蒲町の希望者を対象にマッサージサービスを行ってくれました。奥田さんは、毎月1回の割合で土曜日の午後に来苑し、利用者のみなさんと世間話をかわし乍らサービスを続けています。



## 傾聴ボランティア



## 日本舞踊



17日(月)午前10時、傾聴ボランティア「ダンボの会」のメンバー4人が来苑、西前 幸代さんが大空町・山吹町へ、松本 富子さんは桜町へ、亀田 義一さんは菖蒲町へ、そして、梶谷 和子さんは若草町へとそれぞれ出向き、利用者のみなさんに「今年は雪が少ないですね」とか「出身地はどちらですか」など遠い昔話に思いを馳せて話は尽きることはなかった。



21日(金)午後2時15分から午後3時まで、デイルームで徳岡 栄子さんと船橋 由美子さんの日本舞踊が演じられた。まさしくいま梅の季節「梅は咲いたか桜は未だか」と徳岡さんの優雅な舞、そして、いま話題の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公 明智 光秀の娘 お玉(細川ガラシャ)を船岡さんが粛々と舞い終えた。

